

## 経営改善目標の達成に向けた取組状況

## 1 法人の概要（令和7年7月1日現在）

法人名	神奈川県道路公社				
設立年月日	昭和46年10月30日		代表者名	理事長 佐川 範久	
所在地	横浜市中区山下町 1 番地		電話番号	045-479-7755	
基本財産等	10,781,000,000 円	県出資額	10,781,000,000 円	県出資率	100.0 %

## 2 法人運営における現状の課題（法人）

- ① 計画的な道路施設等の維持修繕への対応  
橋梁・トンネル等の道路施設の老朽化が問題視され、トンネルや道路橋などを、5年に1回の頻度で点検することが義務化され、計画時点で想定していなかった新たな費用負担が生じている。  
このため、定期点検による状態把握及び予防的な修繕を着実に進め、道路施設の長寿命化と修繕に係る費用の縮減を図ることで、道路の安全性・信頼性を確保していく。
- ② 「ETCGo」の順次導入  
利用者サービス向上のため、ネットワーク型ETC技術を活用した「ETCGo」を三浦縦貫道路及び逗葉新道で運用を開始し、真鶴道路においても導入に向けた準備を進めている。
- ③ 経営基盤の強化  
今後の少子高齢化の進展による通行車両の減少に伴う収入減の中においても、自然災害等の不測事態にも対応できる経営基盤の強化を図る。

### 3 法人の県主導第三セクターとしての検証（所管課）

(1) 公益性について

県内幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図ることで、住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与するなど、公益性の高い事業を実施している。

(2) 県行政との関連性について

地方道路公社法に基づき、県が設立し、また唯一の出資者でもあることから、今後も県が関与していく必要がある。

### (3) 民間代替性について

公社が管理している、道路整備特別措置法に基づき整備された道路は、民間が管理することはできず、代替性は無い。

#### 4 経営改善目標の達成に向けた取組実績等（法人）

\* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	6 年度自己評価
1	安全・安心を確保する計画的な維持修繕工事の実施	百万円	837 ( 573 )	465 ( 801 )	( 822 )	( 774 )	( )	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	令和 5 年度から 6 年度に繰越した工事については完成するとともに、予定していた令和 6 年度の工事についても一部の設備更新工事における入札不調を除いて、概ね完了した。				利用者の安全・安心を確保するため、計画的に維持修繕工事に取り組んでいく。			
	備考							

No.	項目	単位	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和 年度	６年度自己評価
2	「ETCGO」の順次導入	百万円	27 ( 420 )	422 ( 138 )	( 138 )	( 138 )	( 138 )	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	<p>管理３路線への導入については、電設資材の調達難の影響等により、全体の導入計画を見直した。</p> <p>令和６年度に三浦縦貫道路及び逗葉新道へ本格導入し、また、真鶴道路へのETC機器設置工事については、工事請負契約は締結したものの支出をしていないため、実績数字には現れていないが、令和７年度に完成予定である。</p>				<p>管理３路線のうち、残る真鶴道路へ「ETCGO」を導入し、利用者の利便性の向上を図る。</p>			
	備考							
	<p>・公社管理駐車場の一箇所に、既存ETC機器を活用し、令和６年度に運用を開始した。</p> <p>・「ワンストップ型ETC」は、令和５年度に「ETCGO」に変更した。</p>							

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和 年度	6年度自己評価
1	有料道路通行料金収入	百万円	1,618 ( 1,634 )	1,656 ( 1,631 )	1,666 ( 1,629 )	( 1,616 )	( )	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	真鶴道路における特大車（大型観光バス）の通行台数の回復が鈍いものの、3路線全体では概ね達成できた。 また、三浦縦貫道路と真鶴道路において周辺集客施設とタイアップした利用促進イベントを実施した。				想定される通行台数の漸減傾向に対し、今後も地域と連携した利用促進等を進め、目標達成に努めていく。			
	備考							

No.	項目	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和 年度	6年度自己評価
2	駐車場料金収入	百万円	289 ( 284 )	331 ( 292 )	333 ( 296 )	( 296 )	( )	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	インバウンド需要等の増加により大仏前駐車場における大型バスの利用が増加したこと、時間貸しの料金体系を見直したことにより吉浜橋駐車場の収入が増加したことなどから、目標を達成できた。				今後も地域と連携した利用促進等を進めることにより、目標達成に努めていく。			
	備考							

No.	項目	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和 年度	6年度自己評価
3	年度末資金残額	百万円	987 ( 824 )	※1,390 ( 867 )	( 878 )	( 901 )	( )	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	入札不調等もあったが、これまでの効率的な事業運営により、6年度末資金残も目標を上回ることができた。 ※ 繰越し工事等408百万円を除く。				収入増に向けた取組みや適正な執行等により、経営の効率化を図っていくとともに、災害時に備えた体制づくりに努めていく。			
	備考							

## 5 財務状況（法人）

（単位：千円、％）

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	増減率 (前年度比)	備考
貸借対照表	資産	23,961,510	24,437,006	24,806,151	1.5	
	流動資産	1,452,154	1,950,585	2,337,272	19.8	未収金の増
	固定資産	22,509,357	22,486,421	22,468,879	△ 0.1	
	負債	8,237,045	8,803,147	9,133,481	3.8	
	流動負債	239,205	534,091	538,800	0.9	
	固定負債	207,667	197,319	180,379	△ 8.6	
	特別法上の引当金等	7,790,172	8,071,737	8,414,302	4.2	
	資本	15,724,466	15,633,859	15,672,669	0.2	
	基本金	10,781,000	10,781,000	10,781,000	0.0	
	剰余金	4,943,466	4,852,859	4,891,669	0.8	

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	増減率 (前年度比)	備考
損益計算書	収益の部	2,315,351	2,217,978	2,441,506	10.1	
	経常収益	2,315,351	2,217,978	2,441,506	10.1	
	業務収入	1,936,045	2,013,953	2,025,187	0.6	
	受託業務収入	78,132	69,404	78,667	13.3	
	助成金受入	252,318	0	275,308	-	
	業務外収入	48,855	134,621	62,344	△ 53.7	雑益の減
	費用の部	2,154,321	2,308,585	2,402,695	4.1	
	経常費用	2,154,321	2,308,585	2,378,798	3.0	
	管理業務費	1,153,061	1,616,822	1,393,906	△ 13.8	
	うち人件費	105,217	123,079	112,445	△ 8.6	
	一般管理費	194,418	174,226	170,985	△ 1.9	
	うち人件費	56,472	56,818	54,640	△ 3.8	
	諸減価償却費	335,082	361,715	368,791	2.0	
	諸引当損	132,625	86,410	91,028	5.3	
	受託業務費	78,132	69,404	78,667	13.3	
	業務外費用	261,003	8	275,422	3,391,798.4	固定資産圧縮損の増
	特別損失	0	0	23,898	-	過年度減価償却費

(単位:千円、%)

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	増減率 (前年度比)	備考
県の財政的支援※	補助金					なし
	交付金					なし
	負担金					なし
	貸付金					なし
	利子補給					なし
	合計					
	県の財政的支援の割合 (合計/経常収益)					

※第三セクター等の指導、調整等に関する要綱に基づく支援区分

(単位:千円、%)

区分			令和4年度	令和5年度	令和6年度	増減率 (前年度比)	備考
参考	①	委託料(指定管理料含む)	78,132	69,404	78,667	13.3	真鶴道路大規模修繕事業 56,203(道路管理課) 道路パトロール業務 22,463(横須賀土木事務所)
		合計(県の財政的支援+委託料)	78,132	69,404	78,667	13.3	
		県の財政的関与の割合 (合計(県の財政的支援+委託料)/経常収益)	3.4	3.1	3.2	3.0	
	②	債務保証(残高)					なし
		損失補償(残高)					なし

(単位:%)

指標	計算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	増減率 (前年度比)	備考
自己資本比率	資本/(負債+資本)	65.6	64.0	63.2	△ 1.2	
流動比率	流動資産/流動負債	607.1	365.2	433.8	18.8	
人件費比率	人件費/経常費用	7.5	7.8	7.0	△ 9.9	
管理費比率	一般管理費/経常費用	9.0	7.5	7.2	△ 4.8	

## 6 取組実績等についての総括（法人）

令和6年度決算では、収入は、予算額に対し有料道路通行料金収入で102.3%、駐車場料金収入で101.8%と目標を達成することができた。支出は、令和5年度からの繰越工事は完成し、予定していた令和6年度の工事についても一部の設備更新工事の入札不調を除いて概ね完了した。また、「ETCGO」については、システムの安定的な運用と安全性が確認できたため、管理3路線のうち、三浦縦貫道路及び逗葉新道においては令和6年度に本格導入した。残る真鶴道路については2か年の債務負担にて契約を締結し、機器設置に取り組んでいるところである。

年度末資金残高については、入札不調等もあったが、これまでの効率的な事業運営により、6年度末資金残も目標を上回ることができた。

## 7 取組実績等についての総括（所管課）

有料道路通行料金収入等について目標を達成しており、年度末資金残額についても計画を上回る状況となっている。

また、安全・安心を確保するための維持修繕工事についても、計画的に取り組まれている。

ネットワーク型ETCについては、安定的な運用を実施できているため、残る真鶴道路への導入についても着実に実施し、利用者サービス及び安全・安心の向上を推進していただきたい。

## 8 第三セクター等改革推進会議の総合評価・今後の取組に向けた意見

評価結果	
A	概ね着実に取組が進められている。